

1 自己評価結果

令和 7 年度 1 年生から 4 年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語を学ぶことは楽しい」という質問に対し、「全くそう思う」、「そう思う」と回答した児童は、全体の 88 %で、令和 6 年度から 2 ポイント上回る結果となりました。このことから、本校の児童は英語活動に意欲的に取り組むことができていることが分かります。

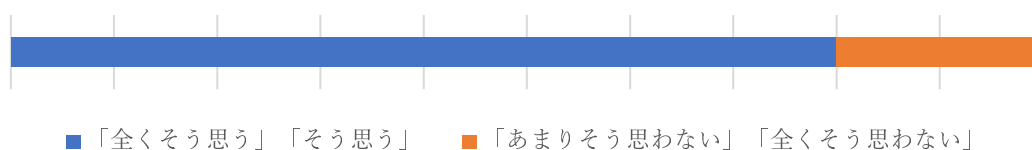
【資料 1】児童アンケートの結果



2 学校関係者評価結果

令和 7 年度に行った保護者向けのアンケートでは、「子どもは英語活動の時間を楽しみにしている」という質問に対して、「全くそう思う」、「そう思う」と回答した保護者は、全体の 80 %で、令和 6 年度からは 4 ポイント下回る結果となりました。このことから、子どもが英語に触れる機会を設けている本校の活動におおむね満足している保護者が多数を占めている一方で、昨年度を下回ったことを受けて理解を得られるように行っている活動を伝えていくことも必要であると分かります。

【資料 2】保護者アンケートの結果



3 まとめ

資料 1、2 の結果から、本校の 88 %の児童は、日々の英語活動を通じて英語に親しみ、楽しみながら学ぶことができていること、80 %の保護者もそれを実感していることが分かります。活動の様子を見ても、子どもたちは DVD から流れてくる歌を元気に口ずさんだり、DVD の音声を繰り返して発音したりするなど、英語活動に楽しんで参加する姿が見られます。また、DVD を繰り返し視聴することで、簡単な表現を覚え、会話の意味を推測しながら理解することができている様子も見られます。令和 7 年度の結果が令和 6 年度を上回ったことを受け、岡崎市が目指す「英語でコミュニケーションを図るおかざきっ子」の育成に繋がっていくように、今後も英語に親しみ、自分の思いや考えを伝え合える児童を目指し、英語活動の充実を図っていきたいと考えています。